

商業四団体合同新春講演会 開催

商業四団体（千葉県商店街連合会・畔高敦司会長、千葉県商店街振興組合連合会・石戸新一郎理事長、千葉県共同店舗協議会・中村秀朗会長、千葉県商業協同組合協議会・土屋利夫会長）は2月3日、千葉市内のホテルにおいて合同新春講演会を開催した。

基調講演として、岡崎まちゼミの会代表松井洋一郎氏による「得する街のゼミナール」まちゼミ」と題した講演が行われ、続くパネルディスカッションでは、「まちゼミ事業による三方よしの実現を目指す取り組みについて」と題して松井氏がコーディネーターとして、新松戸まちゼミの会代表



商業四団体合同新春講演会

上野雅史氏、松阪まちゼミの会代表金見達也氏、松本商工会議所中小企業振興部経営支援グループ係長葉羽田野賢二氏をパネリストとして、熱心な議論が展開された。

続いて催された賀詞交歓会では、千葉県の諸橋副知事をはじめとする多数のご来賓にご臨席いただく中、魅力あるまちづくりを目指す県下の商業関係者による積極的な情報交換が行われた。



千葉県商店街振興組合連合会
石戸理事長

組合決算講習会 開催

本会は1月22日、29日にそれぞれ柏、千葉市内において、平成25年度組合決算講習会を開催した。本講習会では、関係法令に基づく適正な決算処理がなされることを目的に、「組合の決算手続き」と題し、税理士の古知潔先生による講義が行われた。

中小企業団体情報連絡員会議 開催

本会は2月19日、千葉市内のホ

テルにおいて、平成25年度情報連絡員会議を開催した。

最初に三井生命保険(株)千葉支社部長並木正紀氏より、「相続税改正とその対策について」と題して講演が行われた。

次に、本会より「情報連絡員集計結果報告」についての発表を行い、出席した情報連絡員間における、より具体的な情報交換を図った。会場からは、それぞれの業界の動向等について、昨今の厳しい経済情勢を反映した内容の声が寄せられるとともに、今後への期待や抱負といった声も数多く聞かれた。

千葉県中小企業団体事務局責任者協会 第7回通常総会 開催

千葉県中小企業団体事務局責任者協会（榎貝孝二郎会長▽千葉県貿易協同組合 常務理事）は2月18日、千葉市内のホテルにて、第7回通常総会を開催した。

議案審議では、①平成25年度事業報告及び決算報告承認の件、②平成26年度事業計画（案）及び収支予算（案）承認の件、③会費の賦課徴収方法決定の件、④任期満了に伴う役員改選の件の4つの議案が上程され、いずれも原案通り承認可決された。

新役員執行部として、会長には榎貝孝二郎氏（千葉県貿易協同組合 常務理事）、副会長には八重樫良一氏（野田工業団地協同組合 事務局長）、伊藤克義氏（千葉県測量設計補償協同組合専務理事）、中村晃氏（船橋機械金属工業協同組合専務理事）が就任した。

続いて、中央会の組合運営研究強化事業により「組合運営研究会」が行われ、事例研究として、船橋総合卸商業団地協同組合の金子英昌理事兼事務局長より『新たな組合事業創出への挑戦と取り組み』と題する発表が行われた。

その後、事務局責任者協会主催の全体交流会では、会員相互の緊密な情報交流の伸張が図られた。



千葉県中小企業団体事務局責任者協会 第7回通常総会